

教科目名 情報特論 (Advanced Course of Information)

学科名・学年 : 制御情報工学科 3年

単位数など : 必修 2単位 (前期1コマ, 後期1コマ, 学習保証時間 45時間)

担当教員 : 丸木勇治

授業の概要		
コンピュータ技術者のための初級システムアドミニストレータ試験に合格するために必要な情報関連の総合知識を身につける。学習内容はコンピュータ全般の知識や企業の業務に関する基礎知識を学習する。コンピュータの使い方、パソコンに関する知識全般、業務分析の知識、システム運用管理などである。		
達成目標と評価方法		大分高専目標(B2)
(1) コンピュータのハード、ソフト全般について理解できる。(定期試験と課題) (2) コンピュータを道具として使用するための知識を習得することができる。(定期試験と課題) (3) 初級システムアドミニストレータ試験を受験する能力を得ることができる。(課題) (4) 演習問題に自主的に取り組み、継続的な学習ができる。(課題)		
回	授 業 項 目	理 解 度 の 自 己 点 検
1 7	1. エンドユーザコンピューティング ・ (1)パソコンのハードウェア ・ (2)パソコンのソフトウェア ・ (3)表計算とデータベース 演習問題	【理解の度合い】 パソコンの基本構成や仕組みおよびCPU、メモリなどについて理解する。 プログラミング言語やOSなどを理解する。 表計算や関係データベースなどを理解する。
8	前期中間試験	【試験の点数】 点
9 14	前期中間試験の解答と解説 ・ (4)パソコンとネットワーク ・ (5)パソコンの多様な活用方法 ・ (6)オフィス環境 演習問題	【理解の度合い】 自身の理解力を分析し、わからなかった部分を理解する。 ネットワークの概要について理解する。 マルチメディアについて理解する。 オフィス環境について理解する。
15	前期期末試験 前期期末試験の解答と解説	【試験の点数】 点
16 22	2. システム環境整備と運用管理 ・ (1)システム環境整備 ・ (2)システム運用管理 ・ 3. 仕事とコンピュータ ・ (1)仕事の進め方 ・ (2)コンピュータの使い方 ・ (3)業務分析のための方法・知識	【理解の度合い】 システムの環境設定について理解する。 ファイル管理やセキュリティについて理解する。 企業での仕事の進め方について理解する。 データの収集、データの整理文責、データの表し方について理解する。
23	後期中間試験	【試験の点数】 点
24 25 29	後期中間試験の解答と解説 4. 基幹業務システムとの関わり ・ (1)基幹業務システムの概要 ・ (2)ヒューマンインタフェース設計の支援 ・ (3)テストおよび検収の支援 ・ 5. 情報化推進のための表現能力 ・ (1)発表技術 ・ (2)文章の書き方 ・ (3)ビジュアル表現の仕方	【理解の度合い】 自身の理解力を分析し、わからなかった部分を理解する。 業務システムの考え方とシステム開発の手順を理解する。 ヒューマンインタフェースの重要性を理解する。 システムテストおよびシステム運用について理解する。 プレゼンテーションについて理解する。
30	後期期末試験 後期期末試験の解答と解説	【試験の点数】 点
履修上の注意	技術者試験の受験にかかわらず、意欲を持って学習すること。	【総合達成度】
教科書	早川・岩田・新田共著、2006年版初級シスアド標準教科書、オーム社	
参考図書	初級シスアドに関する参考図書は図書館や書店にたくさんある。	
関連科目	情報処理、情報特論	
総合評価	達成目標の(1)~(4)について、4回の試験と課題で評価する。また20%を上限として欠席1回につき2点を評価点から減点し、これを総合評価とする。総合評価が60点以上を合格とする。 総合評価 = (定期試験の平均) × 0.7 + (課題) × 0.3 - (欠席)	【総合評価】 点